

実施教員	所 属	社会福祉子ども学科
	職・氏名	教授 市村 彰英

テーマ	重大少年事件の実証的研究・・・非行から学ぶ家族関係・・・		
実施目標 (高校生に何を学んでもらうか等)	重大少年事件を自分と無関係なものとして切り離してしまわず、その少年の生活していた家族関係を見つめ直し、しっかりと向き合い、考えてみる姿勢を持つ。		
授業内容の要旨	1. よい子が突然、重大事件を起こすという単純な捉え方の見直し 2. 複雑な家庭の事情や家族関係が重なり合っ生じる悪循環のメカニズム 3. 家族の悪循環を理解するための方法 4. 重大少年事件が繰り返されないために何が必要か		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 実習	演習
対象人数	10～50人程度		
必要機材	<input checked="" type="checkbox"/> ビデオプロジェクター	<input checked="" type="checkbox"/> スクリーン	<input checked="" type="checkbox"/> パソコン (パワーポイント)
	OHP	その他()	特になし
実施に当たっての その他留意事項等	10～50人程度の人数が適当。 講義をしながら実習を交え、自らが体験しながら考えてみる方法を用いる。		